

政 策 22

～いつでも安心して水道水が使えるようにします～

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

いつでも水道水が使えるために、災害に強い施設を整備することで、引き続き、安定した飲み水を実現していきます。

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
水道事業に満足 している人の割合	めざそう値 (目標)	—	—	34%	—	37%	41%
	実績値	28.4% (20年2月)	28.4% (20年2月)	34.0% (24年11月)	34.0% (24年11月)		
浄・配水施設の 更新率	めざそう値 (目標)	—	—	45%	—	49%	78%
	実績値	43.6% (21年3月)	43.6% (21年3月)	45.0% (25年3月)	45.0% (27年3月)		

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策22

いつでも安心して水道水が使えるようにします

1. 現況と課題

松戸市の上水道は、江戸川の表流水を水源とする千葉県営水道と、深層地下水及び北千葉広域水道企業団からの供給用水を水源とする松戸市営水道とによる二つの水道事業体が供給しています。そのうち市営水道は、小金地区（流山市の一部を含む。）と常盤平地区に給水しています。

市営水道が行ったアンケート調査によれば、「水道事業に満足している人の割合」は、平成22年度に28.4%であったものが、平成24年度には34%に高まっています。

また、水道事業を取り巻く環境として、人口減少や節水型機器の普及やライフサイクルの変化などの影響により水需要・料金収入が減少傾向にある中で、地震・災害への対応のため、老朽管や浄配水場の耐震化が課題となっています。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① いつでも水道水を安心して、おいしく、飲用や料理などにも使えることが望まれています（ニーズの増）
- ② 少子高齢化・人口減少、節水型機器の普及などにより水需要は減少傾向にあります（ニーズの減）

●松戸市営水道給水区域



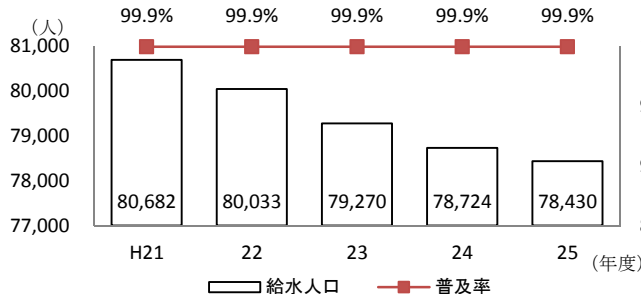
出典 松戸市ホームページ

●給水区域の概況

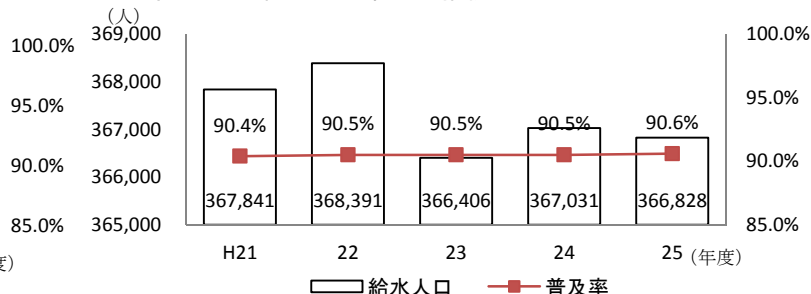
	小金地区	常盤平地区
給水戸数(戸)	26,454	12,058
給水人口(人)	56,173	22,225
一日平均給水量(m ³)	15,195	5,892
一人一日給水量(L)	270.5	265.1

(H27.3.31現在)

●市水エリア 給水人口・普及率推移



●県水エリア 給水人口・普及率推移



出典 松戸市統計書

一人当たり	1年間の使用水量は、	93.0m ³	一戸当たり (約2.0人)	1年間の使用水量は、	189.4m ³
	1年間の水道料金は、	16,057.8円		1年間の水道料金は、	32,688.6円
	1か月の使用水量は、	7.8m ³		1か月の使用水量は、	15.8m ³
	1か月の水道料金は、	1,338.2円		1か月の水道料金は、	2,724.0円
	1日の使用水量は、	258.4リットル		1日の使用水量は、	526.0リットル
	1日の水道料金は、	44.6円		1日の水道料金は、	90.8円

出典 松戸市水道事業概要(平成26年度)より作成

2. 施策の展開方向

水道事業の経営にあたり、経営目標である、「安全で良質な水の供給」、「安定給水の確保」、「サービスの向上と健全経営」を行うため、常に事業の見直し・精査を行ってまいります。

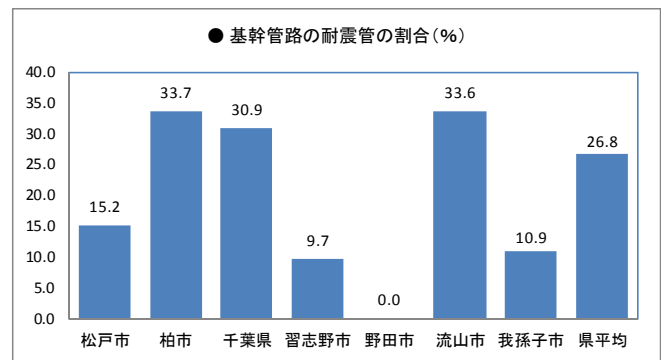
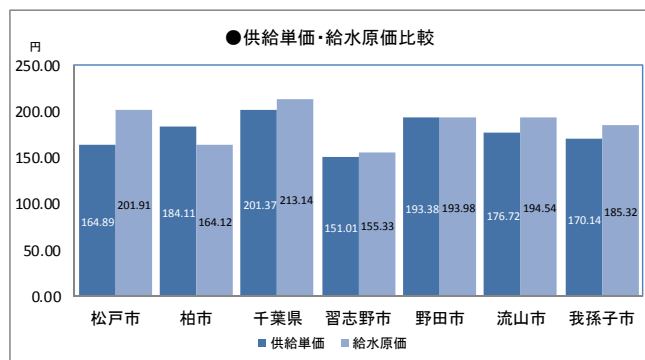
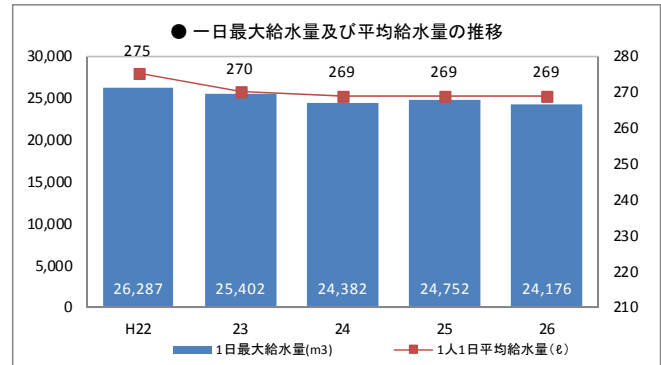
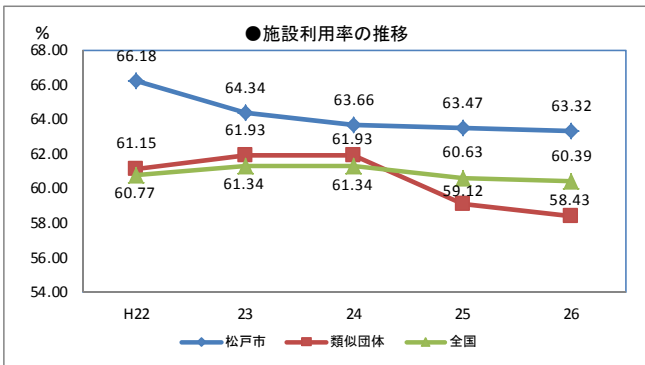
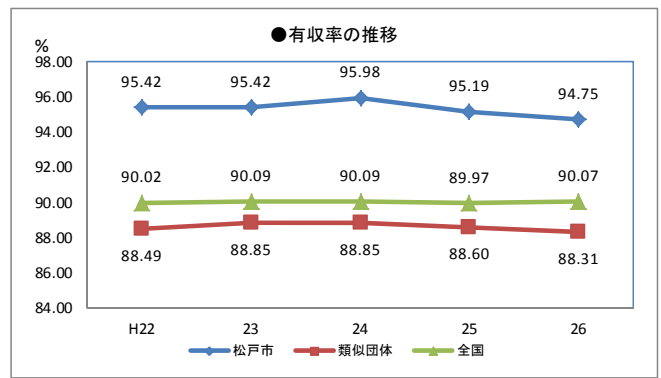
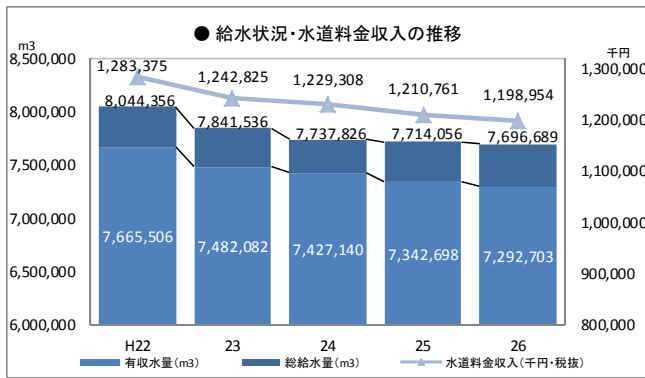
また、今後も耐震性の向上を図るため、耐用年数を迎える老朽管を始めとする浄・配水場の老朽施設を地震などの災害時にも水を確保できるよう、適切な耐震性能を有する施設へと、計画的に更新してまいります。

3. 施策を推進していく上での課題

水需要や給水収益が減少する中で、健全経営に努めながら、地方公営企業としての独立採算性の原則の下、合理的かつ効率的な施設整備と、水道施設の耐震化や老朽管の更新に係る財源をいかに確保していくかが課題となっています。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 市営水道の水源の大半は地下水なので、水質事故にも強く、おいしい水を供給できています（強み）
- ② 水道施設の老朽化により、災害時におけるリスクが高くなっています（弱み）



● 施設概要

給水地区	浄水場	供用開始	給水能力	配水池容量	浄水設備	予備電源設備
小金地区	小金浄水場	H20.7.1	9,540m ³ /日	1池 3,480m ³	着水井 1井、次亜注入機 2台、塩素混和池 1池、ろ過機 2基他	発電機 1台
	大金浄水場	S44.7.16	2,000m ³ /日	3池 1,206m ³	着水井 1井、次亜注入機 3台、塩素混和池 1池、ろ過機 1基他	発電機 1台
	幸田配水場	S51.9.1	11,160m ³ /日	1池 5,880m ³	—	—
常盤平地区	常盤平浄水場	S45.4.1	10,600m ³ /日	4池 6,350m ³	着水井 2井、次亜注入機 2台、塩素混和池 1池、ろ過機 2基他	発電機 1台

